

笑顔

第48号

令和3年8月

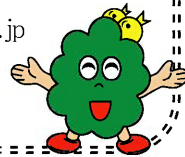
熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

E-mail:sasaeriaobiya @kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/obiya /



令和3年度 第1回 「地域ケア共同推進会議」の開催



ここでは、昨年度の開催時にみんなで確認し合った「高齢者の新しい事へのチャレンジする意欲を活用した、新しい形のサロンの検討を。また、第2、3波を恐れすぎず、自分達の可能性を実現していく為の段階を考えていこう」という事を改め

た。当日は、託麻原、帯山、帯山西校区の社協、自治協、民協の各代表者、熊本市社協、学識者の方にご来場いただきました。オンライン参加では、熊本学園大学教授、熊本市行政の方々、帯山校区圏域の主任ケアマネジャー、障がい者相談支援センターの方にもご参加頂きました。

令和三年七月三十日、本年度第一回地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会が開催されました。この協議会の目的は、「要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを継続するための仕組みづくり」、一言でいえば「みなさんが安心して心豊かに暮らせる地域」を帯山中学校区で創っていく事を目的として平成二十六年度から開催しているものになります。

ここからは、民生委員や自治会の方々がお互いに意見交換をしながら、まちづくりを考えていける場の土台づくりをコロナ禍でも進めていきたい、という事が確認し合えました。そこには、地域住民だけでなく、専門職連携や庁内連携の体制も整えつつ重層的に支援できる体制の構築を行う必要がある事を全員で共有し考える機会になりました。

これから2040年に向けて、校区社協をはじめ、民生委員や自治会の方々がお互いに意見交換をしながら、まちづくりを考えていける場の土台づくりをコロナ禍でも進めていきたい、という事が確認し合えました。そこには、地域住民だけでなく、専門職連携や庁内連携の体制も整えつつ重層的に支援できる体制の構築を行う必要がある事を全員で共有し考える機会になりました。

その後は、「くまもとはつらつプラン」を基に、2040年を見据え、今年度3校区で新たに共通する目標に向け議論しました。議論の中では、熊本地震の時に、地域住民の力で乗り越えてきた経験から、「その時の気持ちを繋ぎ続けたい。」「リスクレベルに応じて、サロンを継続していくことが大切ですね。」「サロンに来られなくなった方々のフォローも大切ですね。」などさまざま意見がでました。



地域包括ケアシステムとは、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように、地域内で助け合うシステムの事です。

編集 前記

とても暑い日々が続きますね。皆さん体調崩されたりしていませんか？この酷暑の中、ささえりあ帯山の花たちは今日も元気に咲いています。この花々の様に、真っ直ぐ頑張っていきたいです！

切通 好実





帯山西校区 いきいきサロン

令和3年7月に帯山西校区のいきいきサロンが2カ所で開催されました。

皆さん、「久しぶりに会えたね」「家におけるけん足が弱ったよ」と久しぶりに集まった事への喜びと共に、コロナ禍の長期化による体の変化への不安も話されていました。サロンでは脳トレを皆さんと一緒にしたり、終始笑い声に包まれていました。集まる事が感染リスクに左右される中、コロナ禍でも繋がり続ける術を皆さんと一緒に考える時期に来ているのかなと感じさせられた時間でした。



帯山西1町内 むらさきサロン

令和3年7月24日(土)帯西コミセンにて、むらさきサロンが開催されました。

内容はフレイル予防、熱中症対策の話をして頂き、簡単な体操を皆様と一緒に行いました。1年ぶりの開催ということで、皆様の素敵な笑顔に出会うことが出来て、私たちも元気を頂きました。



総合学習を開催しました!!

令和3年6月14日(月)託麻原小学校4年生を対象に、総合福祉学習を行いました。当日は、障がい者相談支援センターウィズの職員さんと一緒にオンラインを活用して行いました。

授業内容は、視覚にお手伝いが必要なウィズ職員米田(こめだ)さんから、日常生活の映像を通して障がいのあるなしに関わらず一緒に楽しみ、困った時には助け合う視点の大切さを伝えられました。

授業では、スマホやパソコンを駆使して仕事をされている米田さんの映像を食い入るように生徒さんは見ていました。生徒さんの熱い眼差しは参加したささえりあの職員もWEB映像を通して、圧倒されました。



令和3年6月16日(木)

「託麻原校区認知症介護家族のつどい、ほっとカフェ」を開催しました。家族の方から、母が施設入所中で、夜間眠れない状況が続いていたため、施設の変更を奔走し、数カ所見学の後、現在の施設に入居されたら、穏やかに過ごされているという話を伺いました。認知症の方たちは、本人様の落ち着いた環境で過ごされると、症状が安定することを改めて感じる事が出来ました。

次回の開催は、9月15日(水)の13時30分からです。興味や関心のある方はぜひとも参加してください。

託麻原5町内 すずかけサロン

令和3年7月19日(月)

下油田公園の老人憩いの家にて、すずかけサロンが開催されました。熱中症の話をした後に、適宜水分をとっていただきながら、軽運動や、100歳体操を皆さんと取り組みました。参加者皆さん、久しぶりに集まることができた喜びで笑顔が絶えず、主催者の方のあたたかなお声掛けに、とてもいい雰囲気になっておりました。



久しぶりの100歳体操。皆さん真剣に取り組んでいます!!